

## 第2学年 国語科学習指導案

日 時 平成24年10月11日(木) 5校時

学 級 2年A組 男子 18名 女子 11名 計 29名

場 所 2年A組 教室

授業者 彌勒地 睦子

### 1 単元名 「6 論理をとらえる」

立場と根拠を明確にして書こう 意見文を書く

### 2 単元について

本単元は、「意見文を書くこと」の言語活動を通して、根拠の働きに注目しながら、社会生活で求められる「論理的な表現のしかた」を学ぶことをねらいとしている。学習指導要領の、「第2学年の2内容 B『書くこと』の(1)イ 自分の立場及び伝えたい事実や事柄を明確にして、文章の構成を工夫すること。(2)イ 多様な考えができる事柄について、立場を決めて意見を述べる文章を書くこと。」にあたる学習である。文章の構成や展開、立場の違う考え方からの反論の予想などの学習を通して論理的な表現のあり方について学ぶことを目的としている。

学校生活では自分の意見を発表する機会が数多くある。その際、一方的に意見を述べても反対の立場にある相手を説得することは難しい。相手を説得するには、なぜその意見を主張するのか、納得させることのできる明確な根拠が必要であり、相手の立場を尊重したうえで反論を予想して意見を述べることで説得力も増す。自分の立場を明確にし、意見を支える根拠をより説得力のあるものにする、筋道立てて意見を述べることにより、自分の意見をより効果的に相手に伝える表現のしかたを身につけさせたい。

### 3 生徒の実態

本学級の生徒は、全般に明朗活発で素直な生徒が多い。国語の授業でも、積極的に挙手して発言する生徒が10名程度いる。しかし、中にはこちらの発問をよく聞かずに答えようとする場面も見られるので、発問の意図を把握したうえで発言するように随時指導しているところである。

1学年末のCRT検査の結果(学年)をみると、得点率が全国平均とほぼ同じで、「書く」分野も、全国比100であった。

「書くこと」については、1年時に「わかりやすく説明しよう 情報を選ぶ」で情報の選択を、「調べたことを正確に伝えよう レポートにまとめる」では、レポートの形式に沿ってまとめる方法を学習し、わかりやすく、正確に説明しようとする意識を高めることができた。今年度は、1学期に「説明のしかたを工夫しよう 目的や相手に応じて書く」で、説明のしかたとその効果について学び、目的にあった説明のしかたを選択して書くことを学習した。身近な生活の中から題材を選び、目的に応じた効果的な説明のしかたについて考えることができた。本単元では、選択したテーマに対して自分の立場を決めさせ、その立場を支え、読み手を説得できるように、根拠を明らかにして意見を述べられるようにする。また、自分の立場を最初に述べる、反論を予想してそれに対する意見を用意するなど、考えの筋道をはっきりさせた、論理的な意見文の書き方を身につけさせたい。

#### 4 単元の目標と評価規準

	単元の目標	単元の評価規準
国語への関心・意欲・態度	○選択したテーマについて、自分の立場を明確にしなが、主体的に課題に取り組もうとしている。	○選択したテーマに対する自分の立場を明確にして、意見文を書こうとしている。 (国語への関心・意欲・態度)
書くこと	○自分の立場及び伝えたい事実や事柄を明確にし、文章の構成を工夫して書くことができる。	○自分の立場、事実や事柄を明確にし、反論を予想しながら、文章の構成を工夫している。(書く能力)
	○書いた文章を読み返し、語句や段落相互の関係などに注意して、推敲することができる。	○語句や段落相互の関係などの推敲の観点に注意して、説得力のある文章にしている。(書く能力)
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	○文の成分の順序や照応、文の構成などについて考えて文章をまとめることができる。	○主語・述語の照応や副詞の呼応、接続詞の使い方などに注意して文章を書いている。 (言語についての知識・理解・技能)

#### 5 単元の指導計画

	学 習 活 動
第1時	意見を支える根拠や予想される反論に対する意見など、意見文の構成を知り、特色について理解する。
第2時	①テーマに沿って自分の立場を決める。 ②自分の意見を支える根拠となる事実や例を集め、書き出す。
第3時 本時	①根拠をしぼる。 ②自分の意見に対する反論の根拠を予想し、それに対する意見を考える。
第4時	①双括式の構成で、意見文の下書きを書く。 ②推敲する。 ③意見文を書く。
第5時	①意見文を読み合い、交流する。 ②学習を振り返る。

#### 6 本時の指導

##### (1) 本時の目標

自分の意見に対する反論を予想し、それに対する意見を書くことができる。

【書くこと イ】

##### (2) 本研究とのかかわり

本校の研究主題「学習に主体的に取り組む生徒の育成～表現活動を取り入れた授業の実践を通して～」の副題にある「表現活動」として、本時は、前時までに学習した知識・技能を活用して課題解決を図るための表現活動【表現活動2】の学習場面を意図的に設定して、意見文を書く学習を行

う。前時までに学習した知識をもとに反論を予想して自分の考えを文章にまとめ、また、意見文の例を読んで意見文の構成を確かめさせながら、学習の見通しを立てさせたい。

また、意見文のテーマは、教師が示す題材例の中から選択させる。自分が書いてみたいと思うテーマを選択することが書くことへの意欲につながるものとする。

### (3) 本時の評価規準

評価の観点	具 体 の 評 価 規 準		
	A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する生徒への 具体的支援
書く能力	自分の立場とは反対の立場に立って反論を考え、それに対する適切な意見を書いている。	自分の意見に対する反論を予想し、それに対する意見を書いている。	自分の立場とは反対の立場の意見についてその根拠としてどんなものがあるかを考えさせる。

(4) 本時の展開 (3/5)

段階	学 習 活 動	指導上の留意点・評価・支援
導入 8分	<p>1 前時までの学習内容の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>意見文を説得力のあるものにするためには、意見を支える根拠を明確にすることが必要であることを想起する。</li> </ul> <p>2 学習課題を確認し、本時の学習の見通しを持つ。</p>	<p>○説得力のある意見文には、意見を支える明確な根拠が必要であると確認できたか。</p>
展開 37分	<p>説得力のある意見文にするにはどうしたらよいか。</p> <p>3 根拠をしぼる。</p> <p style="text-align: center;">表現活動 2</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>根拠をしぼるための観点を考える。</li> <li>根拠をしぼる観点をもとに、前時に書きだした事実や例の中から、より説得力のあるものを2点選ぶ。</li> </ul> <p>4 より説得力のある意見文にするために何が必要かを考える。</p> <p>5 自分の立場に対して予想した反論とそれに対する意見を考えて書く。</p> <p style="text-align: center;">表現活動 2</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の立場に対する反論の根拠を考えて書く。</li> <li>反論に対する意見を考えて書く。</li> <li>自分の立場に対して予想した反論の根拠とそれに対する意見を発表する。</li> </ul> <p>6 課題についてまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>近くの生徒と自分の立場に基づいて話し合いながら選択することができるようにする。</li> <li>○より説得力のある根拠を選択することができたか。</li> <li>・第1時に学習した意見文の例に、自分の立場に対する反論を予想した意見があることに気づかせる。</li> <li>○予想される反論の根拠を考えたことができたか。</li> <li>⊗反論の根拠が思いつかない生徒には、立場を決める前に書いた、題材のよい点・悪い点を振り返らせる。</li> <li>○反論に対する意見を考えた書くことができたか。</li> <li>・反論に対する意見が適切か否かを観点に沿って相互評価できるようにする。</li> <li>・友達の書いた反論に対する意見を聞きながら、自分の意見文の書き方の参考にさせる。</li> </ul>

終末 5分	7 次時の学習内容の確認		・次時は、文章の構成を考え、意見文を書くことを予告する。
----------	--------------	--	------------------------------